

新潟民医連に加盟する法人・事業所の取り組みを紹介します。  
ご紹介できる企画等あれば、県連までご連絡下さい。

2020年12月9日（水）  
発行者：小網 孝志

## 第18期 新潟民医連 スローガン

- 綱領を確信し「医療・介護活動の2つの柱」の実践を通し、共同組織とともに人権としての社会保障を充実させる運動と経営改善を進めよう。
- 市民と野党の共闘を大切に、共同の力で安倍政権による9条改憲ストップ！核兵器廃絶、地球環境保全・原発ゼロの運動を飛躍させよう。
- 医師確保をはじめとする新潟民医連を担う人材の確保と養成、学びあい育ちあう職員集団を築こう。

## 職員・新規入所者に公費で検査を！

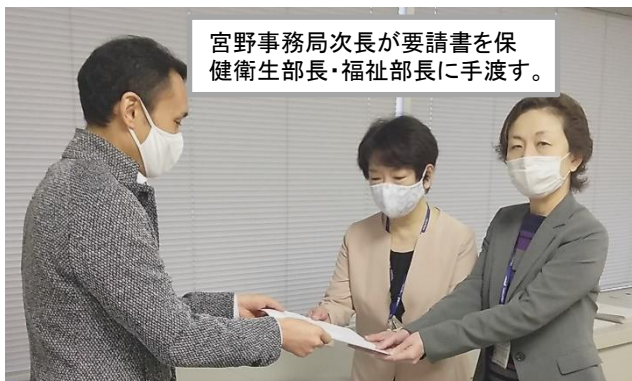
### ～新潟市に2回目の介護要求を要請～

新潟市西区の老健施設でのクラスター発生を受け、再度新潟市に対し、①介護施設の全職員に公費による定期的なPCR検査を行うこと②新規入所者に公費による事前PCR検査を実施することを要請しました。新潟県社保協、坂井輪会、ゆうえい会、勤医協、新潟民医連の代表者が参加し、市側は前回同様保健衛生部長、福祉部長ほか4人が対応しました。

「新規入所者には全員に負担なしで検査を受けてもらえることがクラスター防止につながる」「ワンフロアから6人の発熱者がでて検査を受けてもらった。幸い新型コロナではなかったが、常に不安に感じている」「ショートステイも併設して出入りが多い。全員への検査を要望したい」「デイサービス利用者は複数のサービスを受けている方が多い。家族が受験等で県外に行くこともある。クラスターが発生した老健を退所した方が発熱したケースもあった」など現場の苦勞を訴え、支援を要請しました。

新潟市からは西区の老健施設で発生したクラスターへの対応をまとめた文書を近く発行するので参考にしてほしいこと、事業所が「より安心できる対策」を早急に検討したいとの発言がありましたが、全額公費によるPCR検査については回答がありませんでした。

12/16（水）には薬局への減収補填、慰労金支給を県・新潟市に要請します。



宮野事務局長次長が要請書を保健衛生部長・福祉部長に手渡す。



切実な思いを訴える参加者